

1.富は知の力がもたらす まとめ

- 知が可能にする①高付加価値化と②低コスト化
- ①+②は付加価値増大→利潤↑ and/or 賃金↑ =富↑
- 自然を対象とする途上国の一次産業は、①②が困難
- 「先進国の知識集約財と途上国の労働集約財の交易において前者が次第に有利化する。」(リプチンスキーの法則)

2.先進国における富の蓄積 まとめ

- 1970年代からの先進国経済成長鈍化は大転換
- 成長鈍化←必需品充足→モノが売れにくい
- モノが売れにくい＝物価↓＝非必要経済化
- 非必要経済化は、必需品充足により需要＝投資+消費が低下した時、先進国の巨大余剰資本が示す生体反応

4. 非必要経済と知識社会の結合 まとめ

- 知識社会化への既存の必要条件(機械化、知の力の交易条件、現代高度社会)が1970年代に十分条件たる非必要経済と結合
- 知識社会は肉体労働・有体物経済の社会と大きく異なる
- 知財経営にとって「知識」・「情報」・「理念」・「ヴィジョン」・「戦略」の理解は必須

5.ソ連の崩壊とグローバル市場経済 まとめ

- 中央計画経済は非必要経済を生めない。
マルクスもレーニン、毛沢東も楽しい、おいしい、嬉しいモノは
考えもつかなかった。
- 資本主義は生産性革命(P.ドラッカー)で変身
cf.絶対窮乏化の予言(マルクス)
- 米のプロパテント政策は結局失敗。
ただし、金融工学、IT等の新産業は成長
- 目標喪失の日米、勃興するアジア、成熟の欧州

6.技術開発のジレンマ まとめ

- 成長鈍化は技術差異化を企業に強いる
- 技術開発のジレンマは総資本と個別資本の論理矛盾
- このジレンマが産学連携推進力
- 各産業における大きな技術革新事例集を(提案)

7.利潤はどうして生まれるのか？ まとめ

- 交換経済は利潤引下げの力(“ゼロカ”)
- ゼロカ防止策としてのギルドの普遍性
- ギルドの変種としての発明特許制度は、個の欲を社会の進歩に結びつける制度
- 産業革命→周期的恐慌→技術革新期→大衆消費社会
=高度成長→非必要経済
- 非必要経済は長期利潤率↓
- 1970年代の大転換は、資本の論理貫徹による資本効率重視へ

8.過去・現在の日本 まとめ

- 西欧文明のコピーで成功した日本
- 安価良質大量規格品の組み立て加工型産業でJapan as No.1の
1980年代 cf.暗黙知の共有
- グローバル化でこのビジネス・モデルでは技術導入・模倣の中国
に勝てない。
- 単なるRDアップではダメ。まして知の浪費をや！
- 1つの解が日本固有文化の把握→日本のブランド化ではないか？